

文部科学省「女性研究者研究活動支援事業（連携型）」 「女性研究者リーダーシップ・プログラム」

趣旨

本取組は、平成26年度に採択された文部科学省「女性研究者研究活動支援事業（連携型）」の一環として、同事業の連携機関（名古屋大学、名古屋市立大学、豊橋技術科学大学）における女性研究者の上位職への積極的登用を図るために実施するものです。女性研究者が、大学の研究・教育・組織運営に主体的に関わり、意思決定を行うため、大学の上位職を目指すにあたり必要な情報・資質・スキルについてのリーダーシップ研修を、連携機関で共同実施します。開催場所は、名古屋大学になります。

目的および実施方法

- 本プログラムは一年間のプログラムで、全4回の研修を行います。参加メンバーは、全4回の研修にできるだけご参加頂きます。同じメンバーが一年間継続して研修を行うことにより、リーダーシップを多面的に体得できるだけでなく、参加メンバー同士のネットワーク形成も目的としています。
- 本プログラム内で実施する、連携機関のトップリーダーから行われるリーダーシップやキャリア形成に関する講演の研修では、トップリーダーと参加メンバーとの意見交換も兼ねており、トップリーダーへの女性の活躍推進に関する意識啓発の機能も含んでいます。
- 女性の上位職を積極的に登用するための方策や問題等について各自で課題を発見し、プログラムの最後にレポートを提出頂きます。参加者のレポートをまとめて報告書とし、成果の共有を図ります。
- プログラム修了者には、本プログラム受講を証明する「修了証」を授与します。「修了証」は、プログラム修了者が女性トップリーダー候補としてアピールするために活用ください。
- 昨年度、プログラムに参加された方にも、今年度に残りの研修を受けて頂き、レポートを提出頂ければ修了証を授与します。

対象：名古屋大学・名古屋市立大学・豊橋技術科学大学に所属する女性研究者（文系・理系の分野は問わない、特任教員、研究員等を含み、学生は除く）

参加人数：約20名（下記4回の研修すべて（またはほとんど）に出席できる方）

応募方法および締切：件名を「女性リーダーシップ・プログラム参加希望」とし、本文に氏名、所属（大学および部局）、職名をご記入の上、6月3日（金）までに、名古屋大学男女共同参画室（kyodo-sankaku@adm.nagoya-u.ac.jp）までメールにて応募ください。

備考：

- 参加者には、後日、文部科学省提出のための本事業報告書作成の際、研究業績等の情報について別途ご協力頂くことがあります。
- 女性研究者データ登録へのご協力をお願い致します。

平成 28 年度 研修内容：

第 1 回 リーダーシップの自信を構築する

日時：8月22日（月）8:30-17:00、使用言語：英語

場所：名古屋大学（東山キャンパス）理農館 SA329

講師：ルミナラーニング Elizabeth Handover 氏、ACE Leader Ginger Griggs 氏

研修目的：リーダーシップ開発に優れた実績を持つ専門家によって行われるこの研修は、参加者が暗黙のうちに設けている不安や限界を自覚し、自身の強みを活かした行動やコミュニケーションを行うことにより、自信を持った積極的なリーダーとしてさらにステップアップすることを目指します。

第 2 回 大学における男女共同参画の促進および女性研究者によるリーダーシップの意義について

日時：8月26日（金）13:30～15:30、使用言語：日本語

場所：名古屋大学（東山キャンパス）理農館 SA329

講師：名古屋大学副理事 東村博子氏、名古屋市立大学学長補佐 杉浦真弓氏

研修目的：大学における男女共同参画の現状や課題を把握し、女性研究者がリーダーシップを取ることの重要性について議論します。

第三回 パブリック・スピーキング

日時：12月20日（火）13:00～16:00、使用言語：英語

場所：名古屋大学（東山キャンパス）理農館 SA329

講師：サイマル・インターナショナル

研修目的：英語によるパブリック・スピーキングの方法について学びます。

第四回 大学執行部によるリーダーシップ研修（第一部）および本プログラムの総括（第二部）

日時：3月3日（金）13:30～16:00、使用言語：日本語

場所：名古屋大学（東山キャンパス）本部1号館5階 第二会議室

第一部（13:30～15:00）大学執行部によるリーダーシップ研修

講師：名古屋大学総長 松尾清一氏

第二部（15:10～16:00）本プログラムの総括

講師：名古屋大学男女共同参画室 三枝麻由美

研修目的：第一部では、大学を発展させるために何が求められているかを把握し、また大学トップリーダーへのキャリア形成について学ぶと同時に、女性研究者と大学トップリーダーとの意見交換を目的とします。第二部では、本取組のまとめとして、各自に意見や感想を述べてもらい、本取組で何を学んだかを議論します。